

実地研修評価票：経鼻経管栄養

評価判定基準	ア 評価項目について手順どおり実施できている。	受講者氏名	
	イ 評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。（実施後に指導した。）		
	ウ 評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。（見過ごせないレベルであり、その場で指導した。）	本票ページ数	／
	エ 1人での実施を任せられるレベルにはない。		

回数	※（ ）内に実施研修の実施回数を記入すること		(1) 回目	回目	回目	回目	回目	回目
月 日	※実施研修を実施した月日を記入すること		10／11	／	／	／	／	／
時 間	※実施研修を実施した時刻を記入すること		13:15					
実地研修協力者（イニシャル等）			H. T					
実施手順	評価項目		評価結果	評価結果				
STEP:4 準備	1	医師の指示等の確認を行う	ア					
	2	手洗いを行う	ア					
	3	必要な物品を準備する	ア					
	4	指示された栄養剤（流動食）の種類・量・時間を確認する	ア					
	5	経管栄養の注入準備を行う	ア					
	6	準備した栄養剤（流動食）を実地研修協力者のもとに運ぶ	ア					
STEP:5 実施	経管栄養の実施	7	実地研修協力者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	ア				
		8	注入する栄養剤（流動食）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア				
		9	経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア				
		10	注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア				
		11	注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア				
		12	注入中の実地研修協力者の体位を観察する	ア				
		13	注入物の滴下の状態を観察する	ア				
		14	注入中に実地研修協力者の状態を観察する	ア				
	15	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア					
16	クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外し、半坐位の状態を保つ	ア						
STEP:6 報告	17	注入後、実地研修協力者の状態を観察し、報告する	ア					
	18	体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する	ア					
	19	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）	—					
STEP:7 片づけ	20	環境を汚染させないように使用物品を速やかに片づけする	ア					
STEP:8 記録	21	実施記録を記載する	ア					
アの個数 計			20					
指導看護師のサインまたは印鑑								

自由記載欄 ※指導内容について、裏面評価項目の「評価の視点」の細目レベルで記載してください。

例 1 回目	合格
回目	
回目	
回目	
回目	
回目	